

改 修 内 容 一 覧 表				
部 位	既 存 下 地 ・ 仕 上	劣 化 状 況	下 地 処 理 ・ 改 修 工 法 ・ 使 用 材 料 ・ 留 意 事 項	記 号
屋 上	コンクリートスラブ 均しモルタル鍍押え シート防水カラー（非歩行）	経年劣化 破断・剥離・浮き 変退色	平場：ウレタン系塗膜防水 脱気絶縁工法 X-1 高耐久保護塗装仕上 立ち上り：ウレタン系塗膜防水 X-2 高耐久保護塗装仕上 既設防水層撤去（金物共） ケレン清掃 亀裂ヶ所：Uカットシーリング処理 浮き箇所：エポキシ樹脂注入 樹脂モルタル平滑処理 仮防水処理 ドレン回り 改修用銅製ドレン新設（キャップ共） 末端部金物新設 既設防水撤去後 施工調査を行う 高圧水洗（30～50MPa）	A 1
バルコニー （立ち上り共）	均しモルタル鍍押え シート防水カラー（非歩行）	経年劣化 破断・剥離 変退色	ウレタン系塗膜防水 X-2 高耐久保護塗装仕上 既設防水層撤去 ケレン清掃 ポリマーセメントモルタル塗り 樹脂モルタル平滑処理 仮防水処理 ドレン回り 改修用銅製ドレン新設 末端部金物新設 既設防水撤去後 施工調査を行う 亀裂ヶ所：Uカットシーリング処理 浮き箇所：エポキシ樹脂注入	A 2
外 壁	モルタル刷毛引き アクリルリシン吹付け	経年劣化 カビ汚染 亀裂	可とう形改修塗料 R E（上塗り 弾性シリコン樹脂塗料） 高圧水洗（30～50MPa） 亀裂0.2mm未満：シーリング工法 亀裂0.2～1.0：エポキシ樹脂注入工法 亀裂1.0mm以上：Uカットシール充填＋樹脂モルタル仕上 建具回り、打継目地はシーリング改修：既存シーリング撤去後+洗浄+変成シリコーン2成分形 ノンブリード	B 1
軒 天	コンクリート打ち放し アクリルリシン吹付け	経年変化	合成樹脂エマルジョンペイント塗り 高圧水洗（30～50MPa） 素地B種	B 2
外巾木	モルタル鍍押え	カビ汚染	高圧水洗（10～15MPa）	B 3
スチールドア	スチール枠スチールドア	変退色 一部寂び	外部のみDP塗り（下地処理RB）	C 1
雨 戸		変退色	DP塗り（下地処理RB）	C 2
手 摺	アルミ手摺		既存のまま	
雨 樋	塩ビパイプVP塗装	変退色 掴み金物錆	カラー塩ビパイプに取替え φ75 V P 管 掴み金物：ステンレス	D 1
ルーフドレン	鋳鉄製		改修用ドレン取付（アルミストレーナー付）	A 3
中継ドレン	鋳鉄製		改修用ドレン取付（アルミストレーナー付）	A 4
臭 突	塩ビパイプVP塗装	変退色 掴み金物錆	カラー塩ビパイプに取替え φ75 V U 管 掴み金物：ステンレス 臭突ファン 55m3/h 以上	D 2
建物に付随する配管・ボックス類・換気口等			取り付いた状態で、外壁仕上と同等とする	D 3
エアコン室外機			配管に影響しない範囲で一時移動・復旧とする	
伐 採			建物北側のフェンス内の樹木は、工事に支障をきたさないよう伐採する	

※ 特記事項

- ・仕上改修箇所及び仕上材料は、再度現地確認後、監督職員と協議の上決定すること。
- ・換気口（フード、ガラリ）の破損箇所、建物に取り付けてある脱着可能な物の脱着については、再度現地確認後、監督職員と協議の上決定すること。
- ・入居者所有の外壁への固定物は、許可を取ったうえで、撤去・移設させるが、不可能な部分は工事範囲外とすること。
- ・外壁補修工法・範囲・数量は、事前調査（目視・打診・マーキング・図面記入）し、監督職員と協議した上で、その内容を決定すること。